


あれも
これも、
県庁発。



令和4年度
青森県職員採用総合案内
事務職

あれもこれも、県庁発。

県庁ってどんな仕事をしているの？

普段の生活では気が付かないような、「あれもこれも」青森県をよりよくするために職員が考える「県庁発」の取組です。

「出前トーク」では、県政に関係する様々なテーマについて、県民の方々の集会や学校等に職員が直接出向いてお話し、意見交換を行っています。いただいたご意見は、県の事業を進める上での参考とさせていただきます。

県立中央病院では「地域医療支援部」を設置し、医師自らが地域のニーズに合わせて関わる「へき地医療のマインド」を持った総合診療医の育成・派遣を行うとともに、総合診療医を受け入れられる地域づくりにも取り組んでいます。

「情報システムの管理能力や職員のリテラシー向上」について、セキュリティ研修や訓練メール等により、職員のセキュリティ意識の向上に関する取組を進めています。

教職員の方々の様々な手当の申請において、月ごとに行った部活動に係る手当や勤務形態に応じて支給される手当等を申請します。主に教職員をサポートする業務が多く、責任をもって励んでいます。

P03

P04

P05

P05

CONTENTS

01	あれもこれも、県庁発。	p.01
02	事務系職員紹介	p.02-p.05
03	新採用職員の本音	p.06
04	勤務条件と待遇	p.07
05	仕事と子育ての両立	p.08
06	青森県の組織と仕事	p.09
07	職務内容と主な配属先	p.10
08	採用試験情報	p.11-p.12
09	採用試験 Q&A、お問い合わせ先	p.13
10	人材育成と研修制度	p.14
11	技術系職員紹介	p.15-p.21
12	あれもこれも、県庁発。	p.22

事務系職員紹介



行政

環境生活部 環境政策課

岩崎 丈夫
Iwasaki Takeo

平成24年度採用
板柳町出身

経歴

H24～ 下北地域県民局 地域健康福祉部
保健総室(むつ保健所)
H27～ 健康福祉部 高齢福祉保険課
H29～ 環境生活部 青少年・男女共同参画課
R2～ 現所属

■ 現在の主な業務内容

青森県の環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定された「青森県環境計画」の進行管理に関する業務や、青森県の環境の状況と環境施策の概要について取りまとめた「環境白書」を作成する業務、環境教育に関する業務などを担当しています。



■ 仕事をする上で心がけていることは？

チームとして仕事をする事です。同僚、上司などから様々な視点の意見をもらって、業務を進めることを心がけています。また、逆に意見を求められた場合には、自分なりの視点で意見を出すようにするなど、チームで気持ち良く仕事ができるよう、持ちつ持たれつの関係性を築いていきたいと思っています。



青森県の未来を創る
チームメイトとして、
一緒に仕事ができる日を
楽しみにしています。

とある1日のスケジュール

- 8:00 業務開始、メールチェック
 - 9:00 環境計画の進行管理について打ち合わせ
 - 10:30 各課への照会文書作成
 - 12:00 昼休み
 - 13:00 環境白書に関する業者打ち合わせ
 - 14:00 環境白書校正確認
 - 15:30 環境教育関係の照会処理
 - 16:45 業務終了
- ※ 早出勤務制度を利用



行政

企画政策部 広報広聴課

■ 現在の主な業務内容

県に対する意見や提案などを様々な「広聴事業」を通じてお聞きし、より良い県政を実現するための仕事に取り組んでいます。知事が小中学校を訪問し、青森県の未来について生徒と意見交換を行う「こんにちは！知事です」では、準備から開催までの連絡調整をしました。

■ 青森県職員を志望した理由は？

大学3年生のときに青森県庁のインターンシップに参加したことがきっかけです。若手職員も積極的に意見を述べる姿や、「庁内ベンチャー制度」によりチャレンジできる環境が整っていることを知り、やりがいがある職場であると感じました。また、首都圏の大学に通っており、就職は生まれ育った青森県のためになる仕事をしたいと考えていたことも理由の一つです。

■ 学生時代にしてよかったほうがいいこと

たくさんを経験をすることです。思わぬところでこれまでの知識や経験が役に立つことがあります。本を読んだり、近く的美術館に行ったり、たくさんアルバイトをしてみるなど何でも良いので行動してみてください！



森 美南
Mori Minami
令和3年度採用
青森市出身



日々勉強の連続ですが、自分の業務一つ一つが青森県のためになっていると考えると、とてもやりがいを感じ、充実した毎日を送っています。青森県職員の一員となって、一緒に青森県を盛り上げていきたいと思います。

■ 現在の主な業務内容

地域医療支援、病院広報、院内の医療安全管理関係の業務を主に担当しています。県病地域医療支援部では、医師を派遣し、地域の医療に関する問題の解決へ向け、働きかけもしています。病院広報では、広報印刷物の発行や SNS・ホームページでの情報発信をしています。

■ 青森県職員を志望した理由は？

生まれも育ちも青森県で、学生時代も県内の大学に通っていたため、青森県に愛着がありました。そこで県内で青森県のために働きたいと考え、青森県職員となることを真っ先に思いついたのがきっかけです。食べ物も美味しく、四季それぞれにイベント(桜、ねぶた、紅葉、ウィンタースポーツなど)があって、青森県は娯楽施設が少ないと言われるがちですが、暮らしていて飽きません。そんな青森県で働けるのって予想以上に楽しいなと思っています。

■ 仕事外での活動や、休日の過ごし方

高校生からハンドボールを続けており、現在は社会人クラブに所属していて、母校でもコーチとして後輩の指導をしています。休日はハンドボールの練習や大会があり、4月に採用になってからも充実した日々を過ごしています。新型コロナウイルス感染症がおさまると、県外での大会なども増えるので、さらに忙しくなりますが、選手として2026年のあおり国スポに出場できるよう精進します。

公務員と言えど堅苦しい事務仕事というイメージもありませんが、堅い業務ばかりでなく出張などもあり、また、やりがいを感じながら丁寧に息抜きもしつつ仕事ができる良い環境だと思います。ぜひ、一緒に働いて青森県のためにがんばりましょう！



木浪 安駆里
Kinami Aguri
令和3年度採用
青森市出身

■ 仕事をする上で心がけていることは？

効率の良さは、意識しています。正直、新卒・新採用で経験が少ないため、上司や先輩と比べると業務の質・早さは見劣りすると思いますが、その中でも効率よく行えるように考えています。優先順位をつけて業務を行っていますが、質も向上させることには難しさを感じました。

■ 業務を通じて、

こんな青森県づくりを目指したい！

病院運営職として、病院の敷居をぐっと下げたいです。青森県＝短命県のイメージが定着していると思いますが、1つの要因としては病院に対するイメージが「なんとなく怖い」とか「面倒」というネガティブなイメージがあることだと思います。そのイメージを変えて、短命県返上の力になればいいですね。



病院運営

病院局 運営部 経営企画室



一般事務

■現在の主な業務内容

庁内パソコンや業務システムに係るセキュリティ対策の推進や職員のセキュリティ意識向上のための資料作成、庁内ネットワークに関するウイルス対策ソフト等の管理を行っており、庁内向けの業務が主な内容となっています。

■やりがいを感じる時は？

現在の業務は、観光や福祉等の県民向けのものとは違い、庁内職員向けのものとなっています。しかし、庁内のセキュリティがしっかりと守られていることで職員全員が安心して業務を行うことができると考えると、とてもやりがいを感じています。

未来の青森県のため、皆さんと共に働くことを楽しみにしています！



棟方 咲帆
Munakata Sakiho

平成23年度採用
弘前市出身

経歴

- H23～ 東青地域県民局 地域連携部
- H26～ 下北地域県民局 地域連携部
- H28～ 企画政策部 統計分析課
- H31～ 企画政策部 情報システム課
(現 総務部 行政経営課)
- R2～ 現所属



■現在の主な業務内容

教職員の通勤手当や扶養手当などの様々な手当、出張に係る旅費を申請・計算しています。講演会等の講師の謝金や旅費も担当しており、外部の方々ともやり取りしています。福利厚生や休暇制度についての業務を教職員の方々と連携を取りながら行っています。

■仕事をする上で心がけていることは？

ひとつひとつの業務を正確に行うことです。主ににお金に関する業務の担当が多いので小さなミスでも相手に多大な迷惑がかかります。正確に行うことで円滑に業務を進められ、自分の自信にも繋がるので日頃から正確な業務遂行を心がけています。



坂本 陽

Sakamoto Hikaru

令和3年度採用
八戸市出身

経歴

R3～ 現所属

教育事務

青森県立立田名部高等学校

県職員と一口に言っても多くの種類の仕事があります。さっと自分に合った仕事が見つかると思います。毎日が新鮮で楽しい日々を過ごしています！

Q1 青森県職員になって良かったと思いますか？

97%

「そう思う」「まあそう思う」

たくさんの新採用職員から、職員になって良かったとの回答がありました！

- 日々の業務を通じて、これまでの自分ではできなかった貴重な経験を積むことができています。
- トレーナー制度(p.14)や研修などが充実していて、安心して仕事に取り組むことができます。
- 福利厚生が充実しており、休暇も取得しやすい。
- 青森県民及び青森県発展のために働きたいと考え、そのような業務に関わることができています。

Q2 今の仕事にやりがいを感じていますか？

89%

「そう思う」「まあそう思う」

希望の部署に配属された人ばかりではありませんが、責任感を持って仕事を行った時の達成感や県民の方々との関わりが、皆さんのやりがいに繋がっているようです。

- 県民の方からお礼の電話をいただいたときに、誰かの役に立てたことが嬉しく、やりがいを感じた。
- 仕事のスケールが大きい。
- 初年度から責任のある仕事を任せてもらっている。
- 災害対応では緊張感があり、微力ながらもやり遂げた時に達成感があった。

新採用職員の本音

令和3年度新採用職員のアンケートを集計しました！

回答数119名

Q3 上司・同僚に相談しやすい環境だと思えますか？

95%

「そう思う」「まあそう思う」

年齢が近いが離れているかに関わらず、上司・同僚に相談しやすいとの声が多数。

- 年齢の近い先輩やトレーナーなど、聞くとすぐ教えてくれる人がたくさんいる。
- 年齢が離れている上司でも、相談や質問も丁寧に教えてもらえる環境。
- 忙しい部署だと思うが、話しかけると手を止めて聞いてくれる方が多い。
- 普段の会話から業務の相談まで、幅広く話せている。

Q4 ワークライフバランス(仕事と生活の調和)が実現できていると思えますか？

90%

「そう思う」「まあそう思う」

残業をすることもありますが年次休暇を取得できているとの声が多く、休暇でリフレッシュできている様子でした。

- 計画的に休暇を取得できている。
- 忙しい時期はあるが、所属として休暇取得を推奨する空気がある。
- 時差出勤を利用している。
- 残業もあるが、土日の休みや休暇を利用してリフレッシュすることができている。

Q5 県職員になって、イメージと違っていたことはありますか？

- 県職員はとても忙しく休みも取れない印象だったが、休みを取りやすい環境づくりや電子申請など、職員の負担軽減に積極的に取り組んでいること。
- 企画・戦略的な業務をはじめ、思っていたよりも自由にやれる業務があること。
- お堅いイメージであったが、風通しの良い環境であったこと。
- 公務員の仕事は、法律・規則に従い、机上で淡々と処理していただくかと思っていたが、思っていたより考えることが多く、刺激的な仕事だと感じた。
- 部署によって忙しさが大分違うこと。

Q6 仕事をする上で心がけていることはありますか？

- 最終的に県民のためになるか、ということを意識している。
- 自分の仕事だけでなく、他職員の仕事でも関係する部分があるため、自分の業務のみに集中せず周りもよく見ること。
- 新採用でわからないことが多いため、業務の連携をとるために細かいことも上司に報告を忘れないようにしている。
- 計画性を持って仕事を進めていくこと。
- 主体的に学ぶ姿勢を意識して業務に臨んでいる。

受験する方へのメッセージ

- 青森県庁は働きやすく、楽しい職場です！周りの方もとても優しく話しやすいので、安心して働くことができます。
- 魅力のある青森県になるよう一緒に頑張りましょう。
- 業務内容も多岐にわたっており、どれもやりがいのある仕事ばかりなので、とても楽しいです！受験勉強は辛いと思いますが、頑張ってください。
- 県庁は様々な種類の仕事がある職場なので、自分に合っている仕事は何なのか、働きながら、また異動によって、自分を見つめ直す機会も得られるという点で、良い場所だと思います。
- 技術職の需要は高いので、ぜひあなたの専門知識を公共事業に取り入れてもらいたいです！
- 間違いなく青森県の課題も魅力も一番知れる職業！一緒に青森県を盛り上げませんか？